



# 安来市立病院

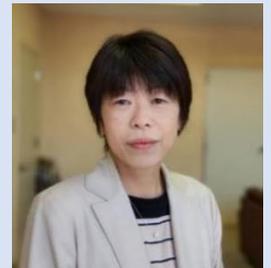
## 地域連携室つうしん

NO.60  
令和7年5月



### 新年度を迎えて

事業管理者 山崎 泉美



春は出会いの時です。今年度、当院には新たに14人の職員が入職しました。一人一人がこれまでの経験や持ち味を活かして活躍してくれるものと期待しているところです。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちは「いい加減」という言葉を使うことがあります。「あの人はいい加減だ」とか「いい加減にして欲しい」など、どちらかというとな否定的な意味に使われやすい言葉ですが、元々は『足したり引いたりしながら丁度良い状態にすること』を意味していたそうです。また、『視野の広がりや柔軟性に程よい様』という意味も持っています。「いい加減」という言葉は「好い加減（良い加減）」として使われていたのですが、「丁度良いのは中途半端で生ぬるい」と考えられるようになり、いつしか否定的な意味に変わってしまいました。しかし、物事を考えたり新たに何かを進めようとする時には、色々な考えを足したり引いたりして、丁度良い加減を見極めながら進めていくことが必要になってくると思います。

これからの社会は、人口減少による労働力不足が顕著になっていきます。一方で高齢者人口は高止まりが続き、医療や介護のニーズは益々増えていきます。また、病院の役割分担や機能分化には拍車がかかることが予測されます。現在、当院は「市立病院経営強化プラン」を軸に、地域のニーズに応えられる病院を目指して取り組んでいるところです。職員一人一人の力を結集していくことが重要であり、職場の仲間同士、少しずつ足したり引いたりする「良い加減」のコミュニケーションを取りながら進めていきたいと思っています。そして、どんな時も「患者さまのために」、また自治体病院に働く職員として「市民のために」を忘れずに頑張っていきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

## 看護部が新体制になります

### 看護部長就任のご挨拶

看護部長 伊澤 里美



4月1日付で看護部長に就任いたしました。

「人を大切に 良い医療 やさしいケア 安心を提供できる病院を目指します」という病院基本理念のもと、患者さま・ご家族さまの気持ちに寄り添い、信頼される医療・看護を実践できるよう職員一丸となって取り組んでいきます。

当院は令和5年度から多職種で構成する在宅支援係が地域連携室に発足しました。在宅支援係では訪問看護の実践もあり、入院から在宅療養まで切れ目のない看護を実践できるようになりました。看護部職員が多職種連携の核となり、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくことができる看護を実践でしていきます。

職員が安心して働くことでできてこそ、地域から信頼される看護が提供できると考えています。看護師が安心して働くことのできる看護部を目指し看護部の土台を作っていきたいと思います。ご指導よろしくお願いいたします。

### 外来看護師長就任のご挨拶

外来看護師長 生田 亜紀



4月1日付で就任しました。

外来では、診察に来られた患者さまの状態を把握し、限られた時間の中で迅速な判断と対応する能力が求められる場所です。患者さまが安心して、診察・検査・治療が受けられるよう、患者さまに寄り添う看護を実践していきます。また、病気を持ちながら住み慣れた場所で安心して生活できるよう、訪問看護を実施しています。退院後も医療的ケアや介護支援が継続して行えるよう地域福祉と連携をとり、継続した看護が提供できるよう、日々自己研鑽に努めて参ります。



# MRI 装置が新しくなりました

装置名 シーメンス社製 ”MAGNETOM Avanto Fit” 1.5T 装置

この度の MR 装置更新により、既存装置のハードウェアを一新し、様々なアプリケーションを搭載した装置となりました。従来の装置に比べるとより診断能力の高い画像の提供と撮影時間の短縮が可能となりました。また内装も以前より明るくなり患者さまがより安心して検査が受けられる撮影室となりました。



新しくなった MRI 装置の特徴を一部ご紹介します

## ◆ 画質の向上

AI 技術による画像再構成 (Deep Resolve) を搭載した装置であり、高速撮影時等に出現する画像に影響を及ぼすノイズを大幅に減少ができ、従来の装置に比べて、より高解像度で良好な画像を提供できるようになりました。

## ◆ 検査時間の短縮

検査時間短縮のための撮影プロトコールが充実し、様々な部位や臨床ニーズに適した高速撮影が可能となりました。画質の低下はなく良好な画像の提供ができ、従来の MRI 装置に比べると最大 50% の高速化が実現されました。

(例)

|      |        |                 |   |                |
|------|--------|-----------------|---|----------------|
| 頭部撮影 | ルーチン検査 | 従来 MRI 装置約 25 分 | → | 新 MRI 装置約 15 分 |
|      | 救急検査   | 従来 MRI 装置約 15 分 | → | 新 MRI 装置約 10 分 |
| 腰椎撮影 | ルーチン検査 | 従来 MRI 装置約 25 分 | → | 新 MRI 装置約 15 分 |

## ◆ BioMatrix Sensor (寝台備え付け生体認証システム)

新しい装置の寝台は、患者さまが寝台に寝るだけで、呼吸による臓器の動きを認識します。腹部 MRCP 等の腹部検査では呼吸同期撮影が必要なため、従来の装置では呼吸センサーを患者さまに取り付けての設定が必要でしたが、新しい装置では寝台に生体認証システムが内蔵されているため、自動的に呼吸情報を認識し画像収集に反映することが可能となりました。

## 地域連携室よりお知らせ

令和5年4月に、在宅医療充実のために在宅支援係を設置し、令和7年4月からは、地域連携室をさらに充実させるため、専任の看護師1名、事務員2名を配置しました。これまで以上にきめ細かいサービスが提供できるよう邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。また、レスパイト入院も随時受け付けておりますので、在宅介護にお困りの方がいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。お申込みは、申込用紙とお電話でお願いいたします。

空床情報は当院ホームページに掲載しております。QRコードもしくは、「安来市立病院」で検索の上ご確認ください。

地域連携室は、開業医の先生方をはじめ、地域の皆さまのお役に立てるように尽力いたします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



↑左から、渡部、山本、小堀、玉木、山藤係長、竹田連携室長、田中係長、永井係長、安部、岡野



病院QRコード

### 安来市立病院 地域連携室

- 連携室長 : 竹田裕司
  - 在宅支援係 : 田中詳子係長、永井和子係長、岡野由香里、安部容子
  - 地域連携係 : 山藤静恵係長、山本啓輔、玉木直之、渡部純江、小堀聖亜
- 受付時間 8:30~17:00

【TEL】 0854-32-2333

0854-32-2241

【FAX】 0854-32-2335